

令和8年度都立小山台高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	・「書くこと」の指導の充実 ・「話すこと・聞くこと」の指導の充実	・教科会で年間指導計画を共有する。 ・百人一首大会を開催する。 ・小論文指導についての科内研修の実施。 ・「話し合うこと」に関する言語活動の指導についての科内研修の実施。	・3年生の入試小論文や記述問題の添削を科内で分担する。 ・「探究型学習」と関連させた資料活用や小論文の指導を行う。 ・アクティブラーニングを積極的に活用する。
地歴 公民	多面的・多角的に考察し、公正に判断する能力と態度の充実	・基礎的・基本的な「知識及び技能」の確実な習得が出来よう授業を実施 ・問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業を実施	・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施
数学	・知識・技能の着実な定着を図る指導の充実 ・思考力・判断力・表現力の養成を図る指導の充実	・予習復習の指示を具体的・組織的に実施することで、学習習慣の確立を図る。 ・対話的活動を取り入れた授業を通じて、生徒の知的好奇心を醸成する。	・長期休業中の講習会を組織的・計画的に配置し、知識・技能の定着を図る。 ・発展的な学習機会を長期休業中の講習会などを通じて提供する。 ・理科や情報科などとの連携による教科横断的な学びを取り入れる。
理科	・生徒の意欲・関心を引き出す授業の創出 ・「探究の過程」をふまえた学習活動の充実	・演示実験や生徒実験による探究的な学習機会の確保 ・ICT機器、TeamsやForms等を活用した授業実践	・探究型学習やアクティブラーニングを取り入れた授業実践 ・大学入学共通テストや難関大入試問題の分析および授業や講習への還元
保健体育	運動や健康について課題を発見・思考し、伝える力の育成	・タブレットを使用し、自己や他者の課題を発見し、資料をもとに課題解決を図る。 ・グループで授業案を作成し、実践・反省を行う。 ・保健では課題設定、解決に繋がるプロセスの発表を複数回行う。	・3年生は種目を選択し、授業案の作成・実施・反省まで生徒主体で行う。(年間) ・保健ではパワーポイントを使用しての発表を行う。(2年2学期) ・日本体育大学と連携をとり、PCR講習を実施。(1年2学期)
芸術	表現活動、および鑑賞の充実	・表現活動に必要な、基礎的技術を習得する。 ・鑑賞活動を通じ、芸術作品への興味関心をもたせ、生涯にわたって芸術を愛好する心情を養う。	・毎回の授業での実習を段階的に計画し、発展的に技術の向上を図る。
英語	「話すこと」「書くこと」の指導の充実	・4月の教科会で各科目の年間目標を確認 ・各科目の目的に即した方法での発表活動を実施 ・一定量の情報の読み取りや聞き取りに慣れるように適切な教材を配置する。 ・エッセイライティングやスピーチの構成方法を身につける。	・オンライン英会話の取組へのサポート ・英語各資格試験のスコアアップへのサポート ・「話すこと」を意識したネイティブスピーカーの活用 ・「書くこと」を意識した通年のライティング指導 ・1年生のスピーチコンテストの実施
家庭	オトナになるために必要な知識と技術の獲得	・グループ学習を取り入れ、他者とコミュニケーションをとりながら、自分の考えを発信したり、他者の意見を尊重する力を養う。 ・衣服の補修技術、洗濯や調理など、生活的自立ができる力を養う	・多様な家族について(1学期) ・ワーク・ライフ・バランス(1学期) ・手縫いのエプロン製作(1学期) ・刺し子・刺繍の技術(2学期) ・家計管理(3学期) ・人生ゲーム(3学期)
情報	「課題解決」につなげる実習の充実	・独自の動画教材を制作し、確実な知識技能の定着を支援 ・情報技術の仕組みを理解することに意識を向け、思考力を伸ばす指導を実施	・プログラミングやデータベース構築などの分野で実社会での取り組みに沿った指導の実施 ・独自開発の教材を用いて、様々な単元で思考力を育む指導方法の開発